

①学校名:	東北 大学(国立)	②所在地:	宮城県仙台市青葉区片平2-1-1		
③課程名:	地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS):アドバンスコース	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2016/9/3
⑥責任者:	地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦	⑦定員:	30名	⑧期間:	3ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>地域経済の発展には、新たな事業イノベーションに挑戦し優れた事業戦略を実践する、地域経済を牽引するリーディング企業の存在が不可欠である。</p> <p>地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)アドバンスコースでは、こうしたリーディング企業を輩出するために、既存の地域企業の経営幹部および新規創業の起業家を対象とした人材育成を行っている。両者の新事業計画を実現するために、組織と人材のマネジメントや資金調達の方法、DXや知財の活用などの実践的なマネジメントに関する知識やスキルを習得し、自ら企画する新事業構想を異業種の事業者や金融機関などの支援者らからのアドバイスをもらいながら、実現可能な新事業計画へと策定することが目的である。</p> <p>本コースを修了した「地域イノベーションプロデューサー」が、こうした実践的なワークショップでの経験を踏まえて、革新的な新事業計画を実現することを期待している。</p>				
⑩10テーマへの該当の有無	中小企業活性化	⑪履修資格:	<p>以下の各号の条件をすべて満たす者とする。</p> <p>①高等学校を卒業している、原則として60才以下の者。ただし、地域イノベーション研究センターにおいて高校を卒業した者と同以上の学力を有すると認められた場合も履修可能とする。</p> <p>②地域に事業基盤をもつ企業等の経営者・後継者・管理者および創業起業家等で、イノベーションをおこして新事業創出または既存事業の発展を構想している者。</p> <p>③地域イノベーションプロデューサー塾(ベーシックコース)を修了した者。</p>		
⑫対象とする職業の種類:	地域企業の会社役員、および新規創業の起業家等				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 組織を運営するための具体的なマネジメントの知識		(得られる能力) 実現可能な事業の計画力、組織と人材のマネジメント、資金調達の方法、DXや知財の活用		
⑭教育課程:	<p>①入塾式・入塾研修:(2時間) アドバンスコースで新事業計画を完成させるためのポイントや最終到着点等についての研修を受ける。</p> <p>②講義:毎週火曜日夜2.5時間×8回(20時間) 革新的な事業を展開し成果を創出するために欠かせない組織のマネジメント等に関する知識として、リクルーティング、若手社員の人材育成、またAIや知財の活用などについて、講義とディスカッションを通じて学習する。</p> <p>③事業計画実習:隔週土曜日 4時間×1回、6時間×6回(40時間) 新事業構想を、地域イノベーションアドバイザー塾生からの支援提案とグループワーク等を通じて、実行可能な新事業計画へとブラッシュアップさせる。</p> <p>④成果発表会・卒塾式:土曜日終日(6時間) 塾生が作成した新事業計画についてのプレゼンテーションを行う。</p>				
⑮修了要件(修了授業時数等):	<p>以下の「出席要件」と「卒塾レポートと成果発表の要件」を全て満たすことが、修了要件である。</p> <p>出席要件</p> <p>①火曜日の夜間に開講される8回のオンライン講義に出席(または録画視聴)して、ミニットペーパー(コメントシート)を提出すること。</p> <p>②隔週土曜の「事業計画実習」(全7回)に4回以上出席すること。</p> <p>卒塾レポートと成果発表の要件</p> <p>①完成した新事業計画を提出すること。</p> <p>②成果発表会で新事業計画を発表すること。</p>				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、東北大学オープンバッジ						
⑰総授業時数:	68	時間	⑱要件該当授業時数:	55	該当要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	81%
⑳成績評価の方法:	プログラムの管理運営を行う「地域イノベーションプロデューサー塾/地域イノベーションアドバイザー塾運営委員会」(以下、RIPS/RIAS運営委員会)の構成員等が、出席状況および策定した新事業計画の評価基準(顧客・価値提案の魅力度、販売・プロモーションの適切さ、資金計画の適切さ、事業のインパクト・期待度・将来性、説明資料の内容の適切さ等)による総括的評価を行う。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。プログラム実施組織であるRIPS/RIAS運営委員会構成員で定常的に点検するとともに、東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議(企業・団体を含む委員で構成)を開催し、①カリキュラム編成、②人材育成(受講者満足度、学習到達度)、③プログラム運営の観点から、本プログラムの自己点検及び評価を実施する						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	受講期間中は、各講義および実習終了後にアンケート調査(コメントシートの提出)を実施し、プログラム修了時には卒業アンケート調査を行う。また、修了生には、OBアンケート調査を行い、策定した新事業計画の実施状況や、本塾での学びによる経営状況等の変化等について効果検証を行う。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。 (自己点検・評価) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間のオンライン講義、隔週土曜日の対面およびオンラインでの開講およびウェブサイトを活用した予習・復習システム						
㉕ホームページ:	(URL) https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/education/rips/						

事務担当者名:	垣見 徹征	所属部署:	東北大学 教育・学生支援部教務課 教育支援係
連絡先:	(電話番号)	022-795-3925	
	(E-mail)	kyom-d@grp.tohoku.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。